

廃案求める声明

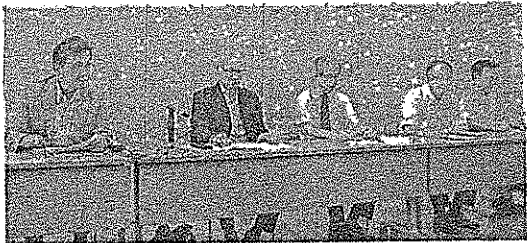
富山県弁護士会歴代会長20人

富山県弁護士会の歴代会長有志は27日、富山市の弁護士会館で記者会見し、「憲法違反の『安全保障関連法案』に反対する」声明を発表しました。現役弁護士の会長経験者29人のうち、20人が賛同しています。

声明は、集団的自衛権の容認を含む「安全保障関連法案」について、戦争の放棄、武力

の不行使、戦力の不保持、交戦権の否認を定めて、徹底した恒久平和主義を採っている日本国憲法に明確に違反すると指摘。「立憲主義を堅持し、恒久平和主義の日本国憲法を守るため、今国会で審理中の『安全保障関連法案』に断固反対し、その廃案を求める」としています。

記者会見には、現会



記者会見する弁護士ら27日、富山市

長の水谷敏彦氏はじめ、歴代会長5氏が出席。40年余、弁護士活

動をしてきた鍛冶富夫氏は、「このような形で声明を発表するのは初めてのこと。国の根幹である立憲主義にかかわる重大な問題に、それだけ弁護士が危機感をもっているということだ」とのべました。

1941年生まれの水谷敏彦氏は、戦争の悲惨さを語り、「脅威だと思われる国々に対して、外交で努力して解決していけばいいのであって、こういう法案には疑問を感じる」と語りました。

戦争法案反対 平和を守れ

「繰り返さないぞ満蒙開拓」 「会」結成 送り火集会



幅広い世代が参加した集会の後、役場周辺を進行する人々26日夜、長野県阿智村

デモアクションを「戦争はいらん」など手作りのプラカードが目をひきました。

集会では、呼びかけ人を代表して前阿智村長の岡庭一雄さんがあいさつしました。

この日、「戦争やめまい☆阿智の会」の結成を確認しました。村役場の青年職員が「私たちの住む阿智村は、満蒙(まんもう)開拓団の歴史から多くの教訓を学び、戦争の悲惨さや愚かさを後世に伝える使命を負っています」と結成宣言を読み上げました。

リレートークでは、子育て中のママ、戦争体験者、若者など幅広い世代の5人が発言。森下ともみさん(38)は、「私も最近まで、普通の主婦でした。戦争法案が仮に通っても私たちはあきらめない。あきらめることは、子どもを戦争に差し出すことです」と訴えました。

集会後、「戦争法案は煙と一緒に空へ送ろう」と、ちょうちんデモ。「繰り返さないぞ満蒙開拓」「阿智から平和を発信しよう」のコールが村に響き渡りました。

長野・阿智村

長野県南部の阿智村(人口6700人)で26日夜、「戦争法案送り火集会―サヨナラ戦争法案」が行われました。

阿智村での戦争法案反対の集会・デモは7月17日に続き2回目です。140人が参加しました。子ども連れのパパ・ママが目立ち、「村デモ町デモ」と